

E235系の愛称は「電子レンジ」



山手線は、山あり谷あり、地形の変化に富んでいます。沿線には官公庁やビジネス街、はん華街が集中していて高層ビルや歴史的建造物など多彩な建物が見られます。季節や時間帯によって様々な景色が楽しめますよ☆

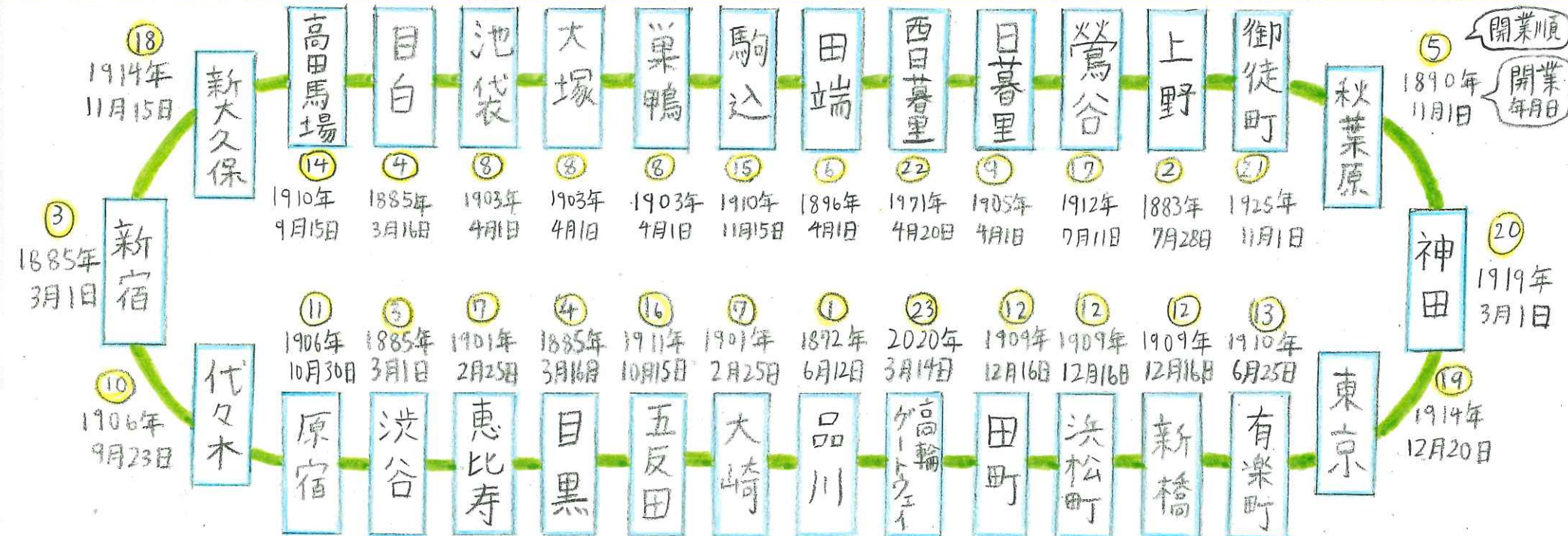
山手線とは？ いつできたの？

JR東日本が運営する山手線は、関東エリアに住む人たちの生活を支える重要な鉄道路線の一つです。都心を一周する環状線で路線図が分かりやすく、乗り換え駅も多いことから観光客にとっても非常に便利な路線です。約35分間かくで発車して30の駅に停車し、全長約35kmを約60分かけて一周します。環状線のため、「行き先」ではなく、時計回りは「外回り」、反時計回りは「内回り」と表示されています。大崎行き、池袋行きの表示があるのは、この二駅には車庫があるからです。1885年に開業。品川駅と赤羽駅を結ぶ鉄道路として、当時は地方に資材を運ぶための貨物輸送列車が運行していました。その後、路線を増やし、1925年に現在のようないくつかの環状線になりました。少しずつ増やしたため、異なる路線が組み合わさり、正確には、品川駅と田端駅までが山手線で、田端駅と東京駅までが東北本線、東京駅と品川駅までが東海道本線という三つの路線で形成されています。

都心をぐるり 山手線新聞

令和6年9月発行
品川 荏小 4年
虫 鹿 未来也

車窓の景色



山手線の魅力を満喫したいと思います。

E235系の最後尾に注目！ 月の花

1月	ツバキ	7月	アサガオ
2月	ウメ	8月	ヒマワリ
3月	タンポポ	9月	キク
4月	サクラ	10月	ススキ
5月	アヤメ	11月	イチョウとカエデ
6月	アジサイ	12月	シクラメン

先頭と最後尾の行先表示器にはフルカラーLEDが採用されていて、「山手線」という路線名と「品川・東京方面」といった行先が交互に表示されます。イラストも表示可能で、最後尾の表示器に12種類のセ化が月替わりで登場します。イラストは発車して一定の速度に達すると切り替わり、ホームの上でも見る事ができます。

元気になる！発車メロディ ベスト5

- 1位 池袋駅 — ビックカメラのテーマソング
- 2位 恵比寿駅 — 第三の男
- 3位 高輪ゲートウェイ駅 — スイートコール
- 4位 新宿駅 — 新たな季節
- 5位 高田馬場駅 — 鉄腕アトム

発車メロディは、いつから始まったの？ 1989年から始まり、それまで電子ベル音だった発車サインをピアノやハープの音に変えて、新宿駅と渋谷駅に試験的に導入されたのが始まりでした。それ以降は少しずつ各駅に採用されていき、1990年代後半からは「ご当地ソング」を採用する駅が現れたりしています。現在の形に至っています。みんなは、どの駅の発車メロディが好きかな？

編集後記

ぼくは、山手線に乗ると元気が出ます。その理由を考えてみたら、心地良いメロディを流したり、花のイラストを表示したりして、いろいろな方法でコミュニケーションを図ってくれているからだと気がつきました。細かいところまで工夫が感じられてうれしいです。これから山手線の魅力を満喫したいと思います。